

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						3.6	
Q1 室内環境						3.2			
1 音環境		3.4	0.15		-	3.4			
1.1 室内騒音レベル	-	3.0	0.40		-				
1.2 遮音		4.2	0.40		-				
1 開口部遮音性能	窓サッシT-2	5.0	0.60		-				
2 界壁遮音性能	-	3.0	0.40		-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-		-		-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-		-		-				
1.3 吸音	-	3.0	0.20		-				
2 温熱環境		2.4	0.35		-	2.4			
2.1 室温制御		3.0	0.50		-				
1 室温	-	3.0	0.38		-				
2 外皮性能	-	3.0	0.25		-				
3 ゾーン別制御性	-	3.0	0.38		-				
2.2 湿度制御	-	3.0	0.20		-				
2.3 空調方式	-	1.0	0.30		-				
3 光・視環境		3.4	0.25		-	3.4			
3.1 昼光利用		2.2	0.30		-				
1 昼光率	-	1.0	0.60		-				
2 方位別開口	-		-		-				
3 昼光利用設備	事務室へのハイサイドライト設置	4.0	0.40		-				
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-				
1 昼光制御	-	3.0	1.00		-				
3.3 照度	オフィス、クリーンルーム:750lx	4.0	0.15		-				
3.4 照明制御	フル2線リモコンにて制御	5.0	0.25		-				
4 空気質環境		4.0	0.25		-	4.0			
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-				
1 化学汚染物質	内装材はF☆☆☆☆を選定	4.0	1.00		-				
4.2 換気		3.3	0.30		-				
1 換気量	セントラル外調機により給排気 換気量30m3/h・人	4.0	0.33		-				
2 自然換気性能	-	1.0	0.33		-				
3 取り入れ外気への配慮	給気口は各種排気口から大きく離隔を確保	5.0	0.33		-				
4.3 運用管理		5.0	0.20		-				
1 CO ₂ の監視	中央監視にてVAV+CO2制御を実装	5.0	0.50		-				
2 喫煙の制御	建物内喫煙室無し、敷地内喫煙所にて喫煙ルールあり	5.0	0.50		-				
Q2 サービス性能			0.30		-	4.2			
1 機能性		4.3	0.40		-	4.3			
1.1 機能性・使いやすさ		3.6	0.40		-				
1 広さ・収納性	-	3.0	0.33		-				
2 高度情報通信設備対応	オフィスエリアにてレベル5の仕様を実装	5.0	0.33		-				
3 バリアフリー計画	-	3.0	0.33		-				
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30		-				
1 広さ感・景観	1~3階事務室は三面に、4階事務室は二面に腰窓を設置	4.0	0.33		-				
2 リフレッシュスペース	2・4階給湯コーナーに自動販売機を設置	5.0	0.33		-				
3 内装計画	機器の製造工程を表現した建物全体コンセプト・内装計画	5.0	0.33		-				
1.3 維持管理		5.0	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計	内装:塗床、防塵壁紙等 外装:フッ素樹脂塗装、防鳥ワイヤー	5.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保	清掃用倉庫、フロア毎SK、リサイクルステーション設置	5.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		3.8	0.30		-	3.8			
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた25%増の耐震性能	4.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	3.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:塩ビタイル・カーペット、壁・天井:石膏ボード	5.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	外部はガルバリウム鋼板製ダクトを採用	5.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	硬質塩化ビニル管、塩ビライニング鋼管	4.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		4.4	0.20		-				
1 空調・換気設備	ガスと電気をエネルギーとする熱源を設置	4.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備	節水器具の採用、汚水槽の設置	5.0	0.20		-				
3 電気設備	情報ラックに無停電電源装置設置、非常用発電機設置	4.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20		-				
5 通信・情報設備	光ケーブル、メタルケーブル、携帯電話網の引込	5.0	0.20		-				

3	対応性・更新性		4.3	0.30	-	-	4.3
	3.1 空間のゆとり		4.0	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高3.85m以上(階によって異なる)	4.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率を0.3未満とする	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり	事務室の積載荷重5000N/m2(床用)	5.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		4.2	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	PSより堅管更新可能	4.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	EPS、ラック・配管の全館敷設により更新可能	5.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	EPS、ラック・配管の全館敷設により更新可能	5.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	ドライエリアを利用した地下設置機器の更新計画	5.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	屋上にバックアップスペースを確保	4.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.38	-	-	3.5
1	生物環境の保全と創出	建物北側の既存緑地・並木の保存	4.0	0.30	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮	藤沢市都市景観アドバイザー会議に基づいた外装・外構計画	4.0	0.40	-	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.8
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	Low-eガラスの採用	3.7	0.20	-	-	3.7
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.62	4.8	0.50	-	-	4.8
4	効率的運用		5.0	0.20	-	-	5.0
	集合住宅以外の評価		5.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	中央監視設備の設置によりシステム評価の実施が可能	5.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	設備管理部門による性能検証、不具合是正を実施	5.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.5
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	節水大便器、自動水栓、擬音装置の設置	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60	-	-	3.7
	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	屋外:インターロッキングブロック、屋内:塩ビタイル	5.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロア・LGS下地の採用	5.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.2	0.20	-	-	3.2
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.3	0.70	-	-	
	1 消火剤	ガス消火にイナートガス(IG541)を採用	4.0	0.33	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.33	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.33	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出率76%	3.9	0.33	-	-	3.9
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.33	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.33	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	-	-	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	1階リサイクルステーション・CR内に回収ボックスを設置	4.0	0.33	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		2.3	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	2.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照明のエネルギー有効利用を図っている・広告物照明なし	5.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	9.0	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1.3.2 維持管理用機能の確保	10.0	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	2.0	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	4.0	4.0	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	3.0	2.0	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	4.0	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	11.0	-	2.0	2.0	2.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	4.0	-	2.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0	-	2.0	2.0	-	1.0	-	-	-	1.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0	-	1.0	2.0	-	-	1.0	-	-	2.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	4.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -U値(W/m²K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH -

昼光率 0.0%

自然換気有効開口面積率 -

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース - /人 病床 - /床 シングル - ツイン -

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 50.0 VA/m²

1.2.1 広さ感・景観

天井高 2.7 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース 3.4% レストスペース -

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 65 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 0 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 20 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 - 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 3.85 m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 12.8%

3.2 荷重のゆとり

床荷重 5000 N/m²

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 21% 建物緑化指数 0%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 64% 水平投影面積率 2% 地表面対策面積率 14% 舗装面積率 51%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m 0.92 断熱等性能等級 対象外 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年m² 採光を満たす教室数 - 採光を満たす住戸数 -

通風を満たす教室数 - 通風を満たす住戸数 -

3 設備システムの効率化

BPI/BPI_m 非住宅 0.62 住宅 - 太陽光 12.4kW 太陽熱等 - 蓄電池 -

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 0.0%

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 田島:セイデンタイエコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 太平洋プレコン:コレクション

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 -

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 0.08

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) -

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 2090

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 - 隣棟間隔指標R_w -

地表面対策面積率 16.8% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0%

見付面積S_b - 卓越風向と直交する最大敷地幅W_s - m 基準高さH_b - m緑地 1,464m² 水面 m² 保水性対策面 m² 高反射対策面 m² 再帰性反射対策面 m²